



大崎耕土の「いぐね」

大崎地方は、冬季の北西風が強く、この風や洪水から家・屋敷を守るため屋敷周りを取り囲んでいるのが、「居久根（いぐね）」です。いぐねは多くの種類の樹や草本類で構成され、果実や木の実などは食料として利用されるとともに、水田や水路とつながり、多様な動物のすみかや植物の生育環境を提供している貴重な地域資源です。（写真：大崎地域世界農業遺産推進協議会提供）